

小学校体育科：
「喫煙の防止」についての授業開発の試み

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 赤田, 信一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00010321

小学校体育科：「喫煙の防止」についての授業開発の試み

赤田信一

A development of teaching and learning about "Prevention of Smoking" in Elementary School P.E
Shinichi AKADA

Summary

This paper is a study of development of teaching and learning which applied to the contents of the government new guideline for teaching about "Prevention of Smoking" in elementary school P.E. It's the contents of the lesson that the Smoking is harmful to health, and the various health-related activities take place in the community. When teaching "Prevention of Smoking," teaching methods are devised by incorporating learning activities that make pupils use the knowledge they have acquired.

キーワード：保健の授業 喫煙の防止 新学習指導要領 授業開発

I はじめに

本稿は小学校体育科の第5学年及び第6学年の保健領域の内容である『病気の予防』における「喫煙の防止」に関する授業開発とその実践の報告である。

さて、平成23年度から全面実施の学習指導要領における「喫煙の防止」(第6学年実施)に関する授業では、喫煙が飲酒や薬物乱用などの行為と同じく『健康を損なう原因となること』を理解できるようにすることが求められており、小学校学習指導要領解説(体育編)の「目標及び内容」には次のような内容が記載されるなかで、これに準じた小学校での保健学習の実践が期待されている。

エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

(ア) 喫煙については、せきが出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓のはたらきに対する負担などの影響がすぐに現れること、受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。なお、喫煙を長い間続けると肺がんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れる。(中略)

低年齢からの喫煙や飲酒は特に害が大きいことについても取り扱うようにし、未成年の喫煙や飲酒は法律によって禁止されていること、好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで喫煙や飲酒を開始する可能性があることについても触れるようにする。

また、小学校学習指導要領解説(体育編)の「指導計画の作成と内容の取扱い」における「2 内容の取扱い」には、学習を展開する上での次のような留意点が記載されるなかで、これに準じた配慮が求められている。

(6) 保健の指導に当たっては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導の工夫を行うこと。(中略)

知識を習得する学習活動を重視するとともに、習得した知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、身近な日常生活の体験や事例などを用いた話し合い、ブレインストーミング、応急手当などの実習、実験などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員などの専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。(中略)

また、今回の学習指導要領の『病気の予防』においては以下の内容についての扱いが新たに加えられたこともあり、ヘルスプロモーションの考え方による「喫煙による健康被害の防止」を目指す保健所や保健センターの活動、また社会全体での環境整備の活動等について、効果的に「喫煙の防止」の授業内容と関連付けながら学習されることが期待されることとなった。

オ 地域のような保健活動の取組

人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣にかかわる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。

このように新しい学習指導要領ではいくつかの点で内容が整理されたり、新しい内容が示されたり、また、内容の取扱いの配慮が示されたりと、以前の学習指導要領と比べてもその変化・違いは少なからず存在しており、今後はこの変化に対応するために、質的・量的にも多様な授業開発とその実践が求められよう。

そこで本稿では、今後の「喫煙の防止」に関する授業実践の発展を願いつつ、時代のニーズに対応しながら当該授業の開発を試み、その実践の報告を行うものである。研究のオリジナリティーとして、諸外国の公的な禁煙啓発のコンテンツを日本の学校教育に応用しながらの教材づくり・授業開発を目指した。今回の授業事例が、小学校高学年における『病気の予防』の単元構想においての一助になり得れば幸いである。

なお、本実践は平成 21・22 年度に行われ、静岡県教育委員会スペシャリスト派遣事業の一環として、複数の公立小学校で実践されたものである。静岡大学教育学部と静岡市教育委員会との協同的なかわりによって実現した実践であり、同時に小学校の学級担任・授業担当の先生方、ならびに静岡大学教育学部学生数人によるチームティーチングによる実践である。

II 「喫煙の防止」の授業のための教材づくり

小学校学習指導要領解説(体育編)の「目標及び内容」

に示された以下 6 点 (a~f) の項目を踏まえた教材づくり (1~6) を行った。

※ なお、その教材を用いた授業実践の様子の写真・説明文を、この教材づくりの記載場所に併記している。

- a. 呼吸や心臓のはたらきに対し、急性的な悪影響を与える。
- b. 受動喫煙により周りの人にも健康上の悪影響を与える。
- c. 長期の喫煙が、肺がんや心臓病などの発症に深く関わる。
- d. 低年齢からの喫煙は、健康上の悪影響が特に大きい。
- e. 未成年の喫煙は、法律で禁止されている。
- f. 好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで喫煙を開始する場合がある。

- 1) 喫煙が人体の各器官へ悪影響を与えたり各種疾病の発症に深く関与したりすることなどを理解させるための「カードゲーム」の開発

喫煙が人体に与える悪影響を視覚的に理解するための資料を国内外から求める中で、科学的な根拠が認められ、なおかつ、その画像が小学生の発達段階にとってある程度の適性があると判断されるものを数点選び、その画像をカードの形態にすることによって教材づくりを行った。なお当然のことながら、画像の著作権は製作元(オーストラリア政府、カナダ政府、タイ政府、EU) にあり、今回の教材づくりによるカードは授業実践の場である教室のみで使われるだけのものである。

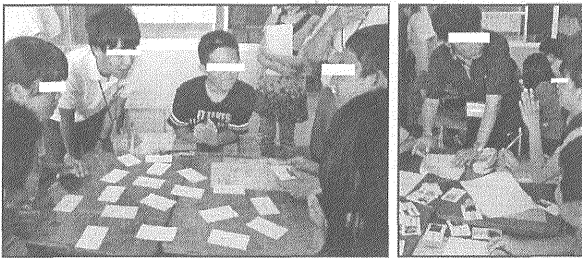
以下の画像(資料1)は、その教材づくりの際に活用した画像の一部であるが、喫煙の人体への悪影響が視覚的に分かりやすく示されているものであり、これらは、実際に上記の国々で販売されているタバコのパッケージに示されている各国政府からの禁煙を呼びかける警告文(写真)である。

最終的には、その他の資料を加えることで上記の a から f の 6 項目を網羅しながら、計 10 種類のカードを作成し、それを 2 枚ずつ 1 パッケージとして準備することでカードゲームとしての活用の可能性を持たせた。

(資料1)



※各国で販売されているたばこのパッケージ。各国の法に基づき購入可能であり、Web 上でも公開されている。筆者は該当国のコンビニでこれらを購入した。



※カードゲームを活用している授業実践の様子。子どもたちは積極的にこの教材を用いた活動に取り組んでいた。授業の導入としての扱いはあったが、喫煙の害を学ぼうとする関心・意欲を高めることにおいて効果的な教材であり、また学習活動であったと推察される。

2) 喫煙が人体の各器官へ悪影響を与えたり各種疾病の発症に深く関与したりすることなどを理解するための「視聴覚教材(動画)」の開発

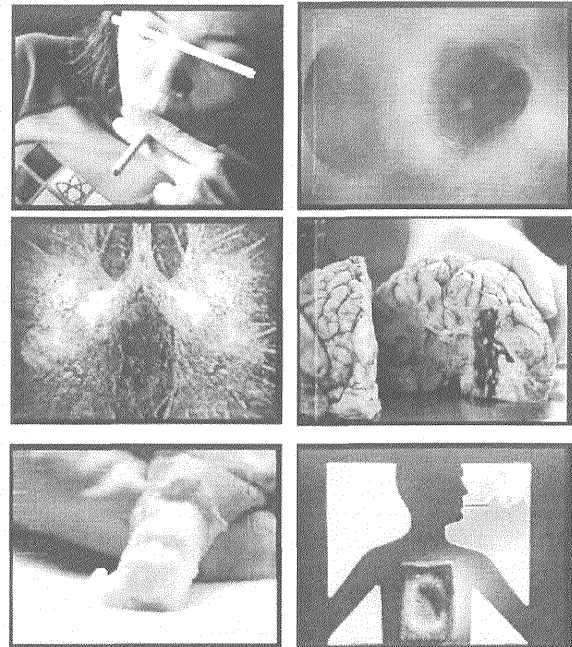
喫煙が人体へ与える悪影響を視覚的に理解するための資料を国内外から求める中で、科学的な根拠が認められ、なおかつ、その動画が小学生の発達段階にとってある程度の適性があると判断されるものを数点選び、それらの動画をまとめることで教材づくりを行った。なお当然のことながら、画像の著作権は製作元(オーストラリア政府)にあり、今回の教材づくりによる動画は、授業実践の場である教室のみで使われるだけのものである。

以下の画像(資料2)は、その教材づくりの際に活用した動画の一部であるが、喫煙の人体への悪影響が動画として視覚的に分かりやすく示されているものであり、これらの一部は、実際にオーストラリアのテレ

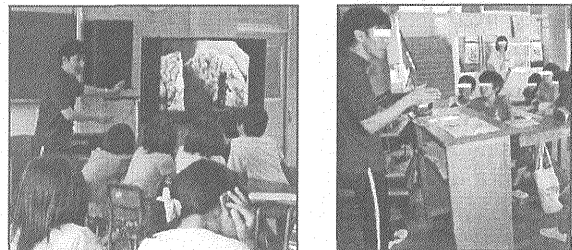
ビCM(喫煙防止のための政府啓発CM)としてテレビで放映されているものである。

最終的には、上記の a から f の6項目を網羅する内容で10分程度の動画としてまとめた。

(資料2)



※Australia's National Tobacco Campaign(Quit)による動画映像。筆者は映像の原本CDをQuit本部から直接譲り受け教育目的での使用許可を得たが、同映像はWeb上でも公開されている。



※映像教材を活用している授業実践の様子。科学的で印象的な映像に対して、子どもたちは強い関心を持ち、食い入るようにそれを視聴していた。映像の途中で適宜説明を受けることにより、喫煙の害についての理解を深めることの出来る効果的な教材であったと推察される。

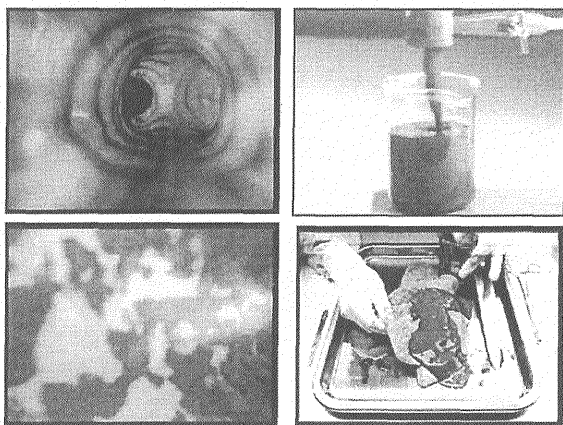
3) 喫煙が人体の各器官へ悪影響を与えたり各種疾病の発症に深く関与したりすることなどを理解するための「実習・実験」の開発

喫煙が人体へ与える悪影響について「実習・実験」を通して理解するため、前述の1) 2)の視聴覚教材として扱った内容の中から、科学的な根拠が認められ、なおかつ、その「実習・実験」が小学生の発達段階に

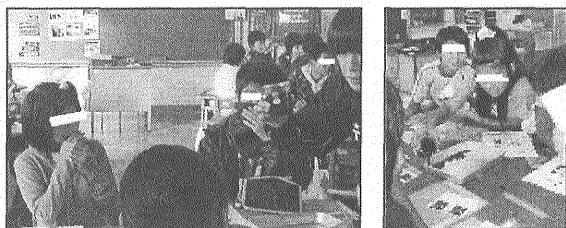
とってある程度の適性があると判断されるものから、以下の教材づくりを行い、上記の a から f の 6 項目を踏まえつつ、知識を活用しながら思考力・判断力の育成ができる学習活動の成立を図った。

- ① 一年間継続の喫煙によって肺へ送り込まれるタールの総量を算出し、それを疑似タールとしてビーカーに詰め込み、その後、その疑似タールを肺に見立てたものに擦り付けていく実習・実験。ここでは体内へ送り込まれるタールの量を喫煙一本につき 0.02cc と仮定し、一日 20 本ほど喫煙する人が一年間の喫煙（7300 本）で、どれだけのタールを体内（肺）へ送り込むことになるのかを示したオーストラリア政府の禁煙啓発映像（資料 3）を参考とした。実際の授業では、タールを食用のヨーグルトに墨汁を混ぜ合わせたもので代用した。なお、7300 本の喫煙により、総計約 150cc ものタールが一端は体内（肺）へ送り込まれるものとされる。

（資料 3）



※教材づくりの参考にした映像の一部。Australia's National Tobacco Campaign(Quit)によるもの。

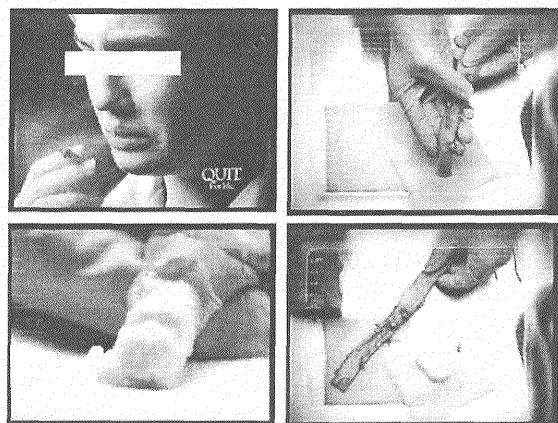


※疑似タールを活用している授業実践の様子。子どもたちは具体物に対して強い興味を示しながら学習を進めていった。途中で適宜説明を受けたり、自分たちでそれらを扱ったりすることにより、喫煙を継続することによる害の拡大について理解を深めることの出来る効果的な活動・教材であっ

たと推察される。

- ② 十年間継続の喫煙によってコレステロール等の動脈硬化に関与する物質が人体内の大動脈にどれほど沈着するかについて、血管模型を用いながら確認していく実習・実験。動脈硬化に関するオーストラリア政府の禁煙啓発映像（資料 4）を参考とした。実際の授業では、大動脈の血管模型は赤色のビニールホースで、また、血管内に沈着するコレステロール等は粘性がある洗顔料を活用するものとした。

（資料 4）

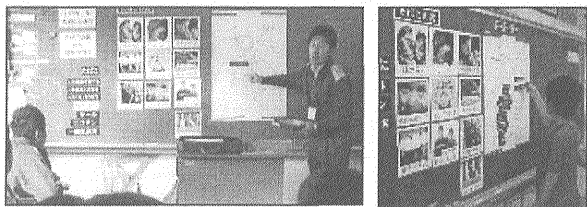


※教材づくりの参考にした映像の一部。Australia's National Tobacco Campaign(Quit)によるもの。



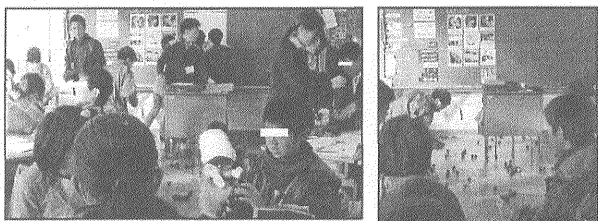
※疑似の血管（大動脈）を活用している授業実践の様子。子どもたちは具体物に対して強い興味を示しながら学習を進めていった。途中で適宜説明を受けたり、自分たちでそれらを吸ったりすることにより、喫煙の害についての理解を深めることの出来る効果的な活動・教材であったと推察される。

- ③ たばこの煙の中に含まれる有害物質の数（約 200 種類とされる）を視覚的にも実感できるようにするため、有害物質の名前をマグネット式のプレートに記載して、それを人体図へ実際に張り付けていく実習・実験。人体図は、口腔・咽頭・気管支や肺の器官が表わされる形となっており、たばこの有害物質がまずダイレクトにそれらの部位に触れ、健康上の悪影響を与えていくことを理解できるよう工夫した。



※人体図の中へ、たばこに含まれる有害物質のプレートの張り付けていく授業実践の様子。200種類という極めて多くの有害物質が細いのどを通り抜けていくこと、また、それらがすべて肺に到達し、喉・気管・肺の健康を害すること、同時にそれらが肺から血液に乗って全身にめぐらされ、人体の様々な器官・部位を害する可能性があることなどについて理解を深めることの出来る効果的な教材であり、学習活動であったと推察される。

- ④ たばこの煙が比較的広範囲へ広がっていき、そのことが受動喫煙の被害拡大につながることを実感できるようにするため、たばこの煙の中に含まれる約200種類の有害物質に見立てた200個のピンポン玉を教室内に投げ広げ、教室程の広さのある空間であっても、有害物質が自分の所まで確実に届いてしまうことを理解するための実習・実験。たばこの煙は気体（気相）と粒子（粒子相）からなるが、これらの空気中の広がりを実物で確認することは現実的には難しく、今回のピンポン玉の活用は、コスト面や分かりやすさにおいては適切であると判断した。



※黒で色塗りをしたピンポン玉を活用している授業実践の様子。子どもたちは教室のいたる所に散らばるピンポン玉に触れながら、喫煙による有害物質の広がりについて強い興味を示した。たばこの煙の広がりが受動喫煙を起こし、それにより他者の健康に悪影響を与える可能性があることについての理解を深めることの出来る効果的な教材であり、学習活動であったと推察される。

- 4) 喫煙が人体の各器官へ悪影響を与えたり各種疾病の発症に深く関与したりするという知識を活用しながら、喫煙防止に向けた思考力・判断力の育成を図る「学習活動：ロールプレイング」の開発

好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで喫煙

を開始する可能性があることについて、「学習活動：ロールプレイング」を通して理解するため、他人からの喫煙の誘いに関する様々な事例の中から、小学生の発達段階にとってある程度の適性があると判断されるものに加工し、以下のロールプレイングの課題（ワークシート；資料5）の教材づくりを行い、上記の a から f の6項目を踏まえつつ、知識を活用しながら思考力・判断力の育成ができる学習活動の成立を図った。


また、学習指導要領解説（体育編）の内容の取扱いに示される「専門性を有する教職員等の参加・協力の推進」を踏まえ、喫煙防止教育に関して専門的な実践研究を進めている静岡大学在学の大学生6名をこの授業のチームティーチングの構成員として参加させ、小グループによる学習形態のなかで、ロールプレイングのシナリオを作る児童全員が、実際に大学生を相手にロールプレイングの学習活動を行えるよう工夫した。また、作ったシナリオを単に読み上げるだけではなく、子どもとやり取りを行った大学生が指導性を発揮し、その子どもがシナリオに込めた意図等を小グループのメンバーに披露出来るように促し、その優れた点をメンバー・学級全員で共有するものとした。

（資料5）

【Aくんからの手紙】

今はとても後悔しています。

僕がたばこを吸ってしまったのはこんな「わけ・きっかけ」があったのです・・・



あの時、いつも仲良くしている近所のお兄さん（上級生の友達）と一緒に、地域の祭りに参加して楽しんでいました。その後、お兄さんが「ちょっと家に帰っていかない、もう少し遊ぼうよ。」と誘ってきたので、僕はそのお兄さんの家に立ち寄ることにしました。お兄さんの家の人は外出中でした。部屋でゲームをしていたときのことです。お兄さんがクソの曲からたばこを取り出し、火をつけてくれました。そして、「おい、おまえも吸ってみろよ、一歩おけるよ。」と言いつつ、僕にたばこを勧めました。どうしようかと考えていたら、「なにモジモジしているんだよ、少しぐらいなら大丈夫だよ。吸ってみれば、カッコいいだろ。」と、さらに強く誘ってきました。僕は、少し迷ったけど、年上のお兄さんから言われたことだし、ちょっとカッコいいかなーと思えだし、結局吸ってしまいました。

でも今は後悔しています。

~~~~~

**【作業課題】**

**「Aくん」に教えてあげよう  
他人からのたばこの勧めを断る方法**

Aくんは、たばこを勧めてくるお兄さんに、どのように対応すれば、たばこを吸わずにすんだのでしょうか。たばこの勧めを断るためのセリフ・シナリオを、空欄に書き込んで、良いやり方をAくんに教えてあげましょう。書き込みが終わった後は、グループの中で、そのセリフ・シナリオをもとにしたロールプレイングを実践に行います。

**【セリフ・シナリオづくりのヒント】**


- モジモジとしたような曖昧な言葉を使わずに「ハッキリ」とした言葉にしよう。
- ゲンカするような言葉や、心ざけたりする言葉は使わないようにしましょう。
- 「たばこの害」について、もう一度思い出し、その「たばこの害」を自分だけが吸わない理由にして、断るセリフ・シナリオを作ってみよう。
- お兄さんの「誘いの言葉」の中にある「カッコいい」や「余裕」を正しながら断るセリフ・シナリオを作ってみよう。そして、最後には、お兄さんにたばこを止めるよう言葉をかけてあげよう。



【ロールプレイングのセリフ・シナリオづくり】

Aくんになったつもりで、たばこの勧めを断るためのセリフ・シナリオを空らんに書き込んでください。

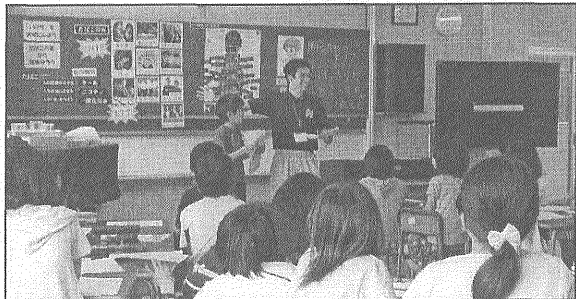
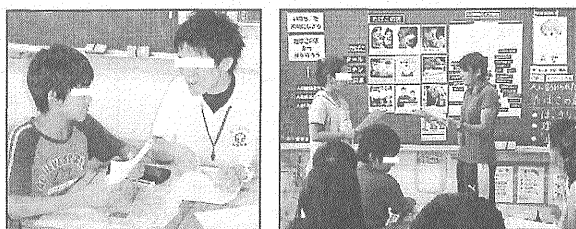
お兄さん：「おい、おまえも吸ってみろよ。これ一本あげるよ。」  
Aくん：  
お兄さん：「一本ぐらい大丈夫だよ。止めようと思えばすぐに止められるし。」  
Aくん：  
お兄さん：「たばこぐらい吸ったって、別に病気になるわけじゃないんだから吸おうよ。」  
Aくん：  
お兄さん：「Aの方が年下なんだからさ、おれの言うことを聞けよ、吸えよ。」  
Aくん：



●「たばこシナリオづくり」が終わった後は、実際にそれを使ってのロールプレイングを行いたいと思います。自分の考えをしっかりと相手に伝えて、たばこの害から体を守りましょう。

名前 (                      )

※授業で活用したワークシート。書き込みに困難さを感じている子どもに対しては、教師が積極的に関与していき、その子どもなりの思考・判断を文章（シナリオ）の形にしていくこととした。



※ロールプレイングを行っている授業実践の様子。どのような知識をもとに思考・判断をしていったのかについて、また、作ったシナリオの意図について、教師が丁寧に聞き取り、それを小グループや教室全体で共有できるよう働きかけを行った。自分の思考・判断の意図が友達に理解され、また友達の思考・判断の意図を十分に理解できるという授業の展開のなかで、子ども達はさらに積極的に授業に取り組んでいった。

5) 地域の保健活動の取組についての理解を深め、そこで得た知識を活用しながら、喫煙防止に向けた思考力・判断力の育成を図る「学習活動：ケーススタディ」の開発

今回の学習指導要解説（体育編）に新たに加えられた「地域の様々な保健活動の取組」の項目について、地元の保健センターで実際に行われている禁煙支援・喫煙防止の啓発活動の内容に触れることを通して理解を深め、そこで得た知識をもとに、架空の喫煙者に対しての禁煙支援を体験的に実施するといった「学習活動：ケーススタディ」の課題（ワークシート；資料6）の教材づくりを行った。地域の保健活動の取組から得た知識を活用しながら、喫煙防止に向けた思考力・判断力の育成ができる学習活動の成立を図ったものである。


（資料6）

**「あなたの大切な人」に教えてあげよう！ たばこハイバイの方法**

「体に悪いって分かっているんだけど、なかなか止められなくて困っているよ・・・」と、つぶやくAさん。

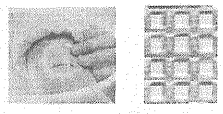
でも今は、たばこを止めるための「薬」を病院で出してもらえます。また、たばこを止めるための「シール（パッチ）」や「ガム」も近所の薬局で買うことができます。

たばこを止めるための飲み薬  
（病院で出してもらえます）



<お医者さんと薬箱>

たばこを止めるためのシールやガム  
（薬局で買うことができます）



<シールやガムを使って禁煙>

● 作業課題

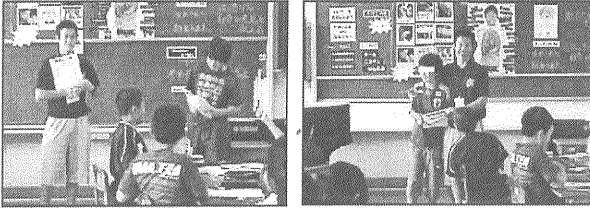
Aさんに対して、「たばこは止めたほうがいいよ」というお話を、優しい言葉でしてあげてください。その時、たばこの害や、たばこを止める方法があることなどを、教えてあげるといいですね。「止めてほしい」「健康でいてほしい」という気持ちを言葉にして、絵の中に書いてください。

<黒板は、「うるさい！」とか「私の勝手でしょ！」とか言い返されるかもしれないけど、もしたばこを止めることができたら半歳ぐらいだったら、その人たちの多くが『めでたかった！』と喜ぶようです。Aさんにも、そんな日が来るといいですね。>

【おなたからのメッセージ】

あなたのいのちが大切なものであるように、家族や仲間の中のいちも本当に大切なものですね。みんながいつまでも健康でいられるように、みんなで声を掛け合いながら、たばこを吸わない生活を過ごしていけるといいね！

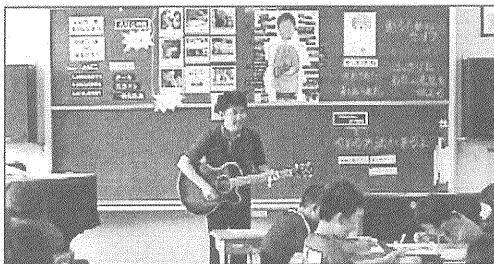
※授業で活用したワークシート。書き込みに困難さを感じている子どもに対しては、教師が積極的に関与していき、その子どもなりの思考・判断を文章の形にしていくこととした。



※ケーススタディを行っている授業実践の様子。どのような知識をもとに思考・判断をしていったのかについて、また、作ったシナリオの意図について、教師が丁寧に聞き取り、それを小グループや教室全体で共有できるよう働きかけを行った。自分の思考・判断の意図が友達に理解され、また友達の思考・判断の意図を十分に理解できるという授業の展開のなかで、子ども達はさらに積極的に授業に取り組んでいた。

6) 本時で学んだ内容についてそれらの知識の定着を図るための「振り返り教材」の開発

本時の学習で学んだ内容を全体的に振り返ることで、ややもすれば断片的な知識の蓄積に陥りやすい状態から、その知識の集積が喫煙防止に向けての構造的な知識となっていくことを目指した教材づくりを行った。学習の「振り返り教材」として位置づくよう、右に示す穴埋めのある文章（歌詞；資料7）を提示し、新たに作曲したメロディーにのせて歌いながらその空欄を埋めていくという活動である。



※メロディーにのせて歌い、歌詞の穴埋めを行いながら学んだことの振り返りを行っている授業実践の様子。テンポの良い曲で、子ども達も楽しみながら活動を進めた。全ての文字が埋まり、曲が終わったときには、クラス全員の子どもの拍手と笑顔で教室が包まれた。

(資料7)

～学習のまとめとして、歌作りをしてみよう～  
 空らんどんな言葉を入れるといいかな？ 今日、学習した内容をもとに歌詞を完成させて、みんなで歌を作っていきましょう！  
 思いつく言葉があれば、メロディーに合わせて大きな声で言ってみてね！

題名 ♪ Don't smoke for healthy life ♪

たばこを吸わない 健康な暮らしをしよう 大切な からだを守るために  
 たばこを吸わない 健康な暮らしをしよう 大切な いのちを守るために

白い煙の中の  や  や  などの  
 有害物質が  種類も からだに 入り込んでゆく  
 からだががんになってゆくと  が奪われる

多くの  を引き起こし  を縮める可能性の  
 高い たばこから身を守ることは 大切な生きる知恵

かけがえの無い毎日を大切に生きている私たち  
 いのちの重み いのちの光 いのちの価値を感じてる

自分も家族も仲間のいのちも  だから  
 からだを壊していく たばこはやめていこう

たばこを勧められることがあっても  相手に伝えていこう  
 そんなものは  吸いたくない  
 あなたも  ほうがいいと

たばこを吸わない健康な暮らしをしよう 一度しかない人生を守るために！

※空欄には、上から「タール」「ニコチン」「一酸化炭素」「200」「けんこう」「びょうき」「じゅみょう」「たいせつなもの」「はっきり」「いらぬ」「やめた」が入っていく。

III 「喫煙の防止」に関する実践の授業展開

学習指導要解説（体育編）の内容と前述の教材づくりを踏まえての実践の様子（授業展開）は、次項に記載する通りである。今回の実践の授業時間はいわゆる小学校の時間割で2時間続き（45分+45分の90分間）であり、教科書は使わずに本実践用に用意したワークシートを用いての授業となった。学級の児童を6つの小グループに分け、それぞれのグループにTTの一員（大学生）が張り付いて適宜指導を行い、学級担任ともう一人のTTが学級全体の授業の進行・展開をサポートした。

なお、授業名は「たばこの害から体を守ろう」である。次項には授業展開を記載する。



- 授業名 ; たばこの害から体を守ろう 「単元：病気の予防」(第6学年)
- 目標 ; 喫煙が健康を損なう原因となることについて、友達の意見を聞いたり、自分の意見を言ったりしながら進んで学習に取り組もうとする。(関心・意欲・態度)
  - ; 喫煙が健康を損なう原因となることについて、その健康被害を予測したり、健康被害を防ぐ方法を提案したりすることが出来る。(思考・判断)
  - ; 喫煙が健康を損なう原因となることについて、人体にもたらされる症状やその深刻さを理解することが出来る。(知識・理解)
- 授業展開 (90分)

| ●学習内容 「教師の働き掛け」 板書・カード                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <留意点> (評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>●導入ならびに喫煙の害についての知識・理解を深める場面</p> <p>「今日は、私達のいのち・健康を大切にしていこう！ そのために、たばこの害から体を守ろう！という授業をします。」</p> <p>【板書・カード】</p> <p style="text-align: center;">いのちを大切にしよう      たばこの害から体を守ろう</p> <p>「さて、このたばこですが、たばこは、次のようなものだということが、もう分かっています。」</p> <p>【板書・カード】</p> <p style="text-align: center;">たばこは、人の健康を害する。<br/>たばこは、人を病気にさせる。<br/>たばこは、人の命をうばう。</p> <p>「それは何故なのか。その理由は、このたばこの煙の中に有害な物質が含まれているからですね。」</p> <p>【板書・カード】</p> <p style="text-align: center;">タール      ニコチン      一酸化炭素</p> <p>「そんなたばこですが、具体的にどのような悪い症状・病気を人間にもたらすのかを、これから確認したいと思います。ここに、たばこの害について記載された10種類20枚のカードがあります。これを裏返して、神経衰弱のルールで最も多くのカードを取った人が勝ちです。グループのなかでチャンピオンを決めます。なお、これは単なるカードゲームではありませんので、記載されている内容について分からないことや疑問に思う事などは、積極的にグループ(班)の先生に質問してください。」</p> <p>【板書・カード】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たばこの害</p> <p>肺が汚れる    肺がん    せきがでる    血管が傷つく    ポーとする    体力の低下</p> <p>寿命が縮む    歯が汚れる    イライラする    周りの人にも害    やめられない</p> </div> <p>「では次に、たばこの害について詳しく学んでいきます。大型モニターを見てください。」</p> <p>【板書・カード】</p> <p style="text-align: center;">肺へのダメージ      血管へのダメージ      受動喫煙の害      寿命への影響</p> | <p>&lt;TTによる複数人による授業となる。子ども達にとっても初対面となる大学において専門的な授業研究をしている大学生の参加もあり、とかく教室が堅苦しくなりがちだが、良好な雰囲気での導入となるよう心掛ける。&gt;</p> <p>&lt;小グループ担当の教師(大学生)は、カードゲームを進めながら、たばこの害の概略について説明する。資料1の活用&gt;</p> <p>(関心・意欲・態度)<br/>(知識・理解)</p> <p>&lt;カードゲームが終わるころを見計らって、カードと同じ内容を大判印刷したものを黒板へ掲示する&gt;</p> <p>&lt;動画を用いながら、たばこの害の詳細について説明する。この時、実習・実験として、一年間の喫煙により肺へ送り込まれるタールの量を計測・紹介したり、動脈硬化となった症状を紹介したりする。資料2～4の活用。&gt;</p> <p>(知識・理解)</p> |

「ここまで映像を用いて、たばこの害について確認してきましたが、こんなに体へ悪影響を与えるたばこの中に、有害物質がタール・ニコチン・一酸化炭素のたった3種類しか含まれていないというのは、どうも納得できないのですが、みなさんはどう思いますか？」

「実際には、約200種類もの有害物質が、たった一本のたばこの中にすべて含まれていて、それが直接、人間の体の中に入ってきます。有害物質名を書いたプレートがありますので、これが人体のどこに入っていくのか、人体模型の上に張り付けていってください。」

「もうひとつ疑問があります。この有害なたばこの煙は、受動喫煙という形で周りの人の健康にも悪影響を与えることが知られていますが、ではいったい、その有害な煙はどのあたりまで広がっていくのでしょうか？」

「今日はここに、たばこの煙の中に含まれる有害な物質の数の分だけのピンポン玉を用意しています。その数、なんと約200種類。そして、仮にこの場所でたばこに火がつき煙が出てくると、その200種類の有害物質がこの教室全体広がっていき、皆さん一人一人の体のなかに、有害物質が届いていってしまいます。では、有害物質の種類の数と、その広がっていく様子を、ピンポン玉で確認してみましょう。」

【板書・カード】

たばこ1本につき200種類もの有害物質が部屋中に広がっていく

●喫煙の害についての知識・理解をもとに思考力・判断力を深める場面

「イラストを用意しましたが、このAくんのことについて考えていきたいと思います。このAくん、実は以前にたばこを吸ってしまったことがあるのです。そんなAくんのたばこを吸ってしまった訳・理由について想像できる人は発表してください。」

【板書・カード】

Aくんがたばこを吸ってしまった訳・理由

ここまで害があるとは知らなかった

かっこいいと思った

人に勧められた

断れずに吸ってしまった

「今日は、このAくんからたばこを吸ってしまった訳・理由について書いてもらった手紙を持ってきました。それをみんなで読んでみましょう。」

「Aくんはこのような理由で喫煙してしまったということです。Aくんは現在はまだ喫煙していないということですが、仮にみなさんがAくんのような状況にいたったとき、どのような知識を使ってどのように対処すれば、喫煙しないという行動を選択できるでしょうか。ワークシートの方へ、その時の状況に応じた対処法を記入してもらいます。」

「それではグループの先生にアドバイスをもらいながら、ワークシートに書き込みを行い、実際にグループの先生を相手にロールプレイングを行ってみてください。」

＜子どもに意見を求めながら、実際にはもっと複数の有害物質がたばこには含まれているのではないかとこの思いを抱かせていく。＞

(思考・判断)

＜人体の内部を描いた用紙を掲示＞  
＜たばこの煙の中の有害物質が、口・鼻から肺に入り、血液に乗って全身に回っていくことを確認しながら、プレートの張り付けを行う。＞

＜前述；教材づくり 3) の③参照＞  
(知識・理解)

＜たばこの煙のなかに含まれる有害物質に見立てたピンポン玉を教室の中に散らばらせ、その数の多さと、その広がりを実感させる。＞

＜前述；教材づくり 3) の④参照＞  
(知識・理解)

＜Aくんのイラストを掲示＞

＜子どもに意見を求めるなかで、結果的に複数の訳・理由が存在する可能性に触れ、だからこそ喫煙行動を開始しないための包括的な思考力・判断力の発揮が求められると同時に、喫煙の人体に与える害の深刻さを十分に理解する必要があることを確認する。＞

(思考・判断)

＜ロールプレイングの課題 ワークシート；資料5の活用＞

＜グループ内でロールプレイングを実施し、その時の工夫した点を1人ずつ発表させ、その是非についてグループ内で議論する。仲間の長所は、自分のロールプレイングに活かしていく。その後グループの代表者が教室全体に向けてロールプレイングを実施し、教室全体からの評価を受ける。＞

(関心・意欲・態度)

(思考・判断)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>●喫煙防止に関する地域の保健活動の取組についての知識・理解をもとに思考力・判断力を深める場面</p> <p>「地域の保健センターや医療機関・役場においては、喫煙は依存症という病気であるという考え方から、その病気の状況からの回復を支援するために様々な取組がなされています。それは、まず、喫煙の有害性を伝え、喫煙を止めるための医療薬品（禁煙補助薬）についての紹介、また、喫煙者の禁煙への決意を高めさせ同時に受動喫煙の害を防ぐための路上喫煙禁止等の社会環境を整える取組の支援等です。」</p> <p>【板書・カード】</p> <p>禁煙補助薬 飲み薬 貼り薬 禁煙の場所を作る取り組みの推進</p> <p>「ここに、実はたばこを止めたいのだけどなかなか止める決心のつかない 40 代の男性；Aおじさんがいるとします。このAおじさんがたばこを止められるように、あなただったら、どのような声かけをしますか。ワークシートの空欄に、声かけする言葉を書いてみてください。」</p> <p>●喫煙の害についての理解した内容を確認する場面</p> <p>「それでは、今日の学習の最後にみんなで歌を歌いたと思います。歌詞カードの途中に空欄がありますが、そこにどんな言葉が入っていくのが適切なのか、今日学んだ内容から考えてください。分かったら、大きな声で歌ってください。」</p> <p>～授業終了～</p> | <p>&lt;医療に関しての専門的な話は避けることとしながらも、実際に地元静岡で実施されている喫煙防止対策について紹介する。&gt;</p> <p>(知識・理解)</p> <p>&lt;Aおじさんのイラストを掲示&gt;</p> <p>&lt;ケーススタディの課題 ワークシート；資料6の活用&gt;</p> <p>&lt;喫煙の問題についてこれまで理解したことをもとに、ケーススタディとして喫煙者に禁煙を呼びかける活動を行う。書かれた言葉はグループ・教室内で披露し、その時の工夫した点を1人ずつ発表させ、その長所についてグループ内で評価し共有していく。&gt;</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>(思考・判断)</p> <p>&lt;振り返り教材 歌詞カード；資料7の活用&gt;</p> <p>&lt;簡単なメロディーに乗せて歌詞を探しながら歌を作り上げていく。今日学んだ内容についての確認とその定着を図る。&gt;</p> <p>(知識・理解)</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

IV おわりに

以上、小学校6年生における体育科の「喫煙の防止」に関する授業開発とその実践の様子を報告した。

ここでは、教材づくりや授業実践上の工夫・アイデアを、僅かながらでも提示出来たのではないかと考えている。喫煙による健康被害の甚大さをふまえ、今後数多く実践されていくことが予想される「喫煙の防止」の授業において、今回の報告がその開発の一助となり得ることがあれば幸いである。

謝辞

授業開発・授業実践に際して様々なご指導ご助言をいただいた静岡市公立小学校ならびに静岡市教育委員

会学校教育課の先生方各位様に対しまして心より感謝申し上げます。また、今回の授業開発・授業実践に参加していただいた静岡大学教育学部赤田研究室のゼミ学生の皆様にもそのご活躍に対して心より感謝申し上げます。

参考文献

- ・ 喫煙と健康 保健同人社 富永祐民 他
- ・ タバコ病辞典 実践社 加濃正人 他
- ・ タバコ規制のための国家能力の構築 WHO
- ・ たばこ規制戦略ガイド ACS : UICC
- ・ Australia's National Tobacco Campaign (Evaluation report volume two) Quit
- ・ The Tobacco Atlas WHO